各常任委員会は、下記の分野の問題・課題について議論しています。
◎総務・産業常任委員会…総務、税務、産業、商工観光、建設、上下水道
◎社会・文教常任委員会…町民、保健福祉、教育、消防

総務・産業常任委員会

日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に伴う国等関係機関への要請状況

平成31年3月に日高町村会、日高総合開発期成会の連名で国立公園化についての要望書を環境省北海道地方環境事務所に提出しその後の要請状況の説明を受けております。

今後の流れについて環境省との確認事項

①国立公園指定区域に関する協議は素案が町に示されたのち、始めることとなる。

②国立公園の区域を指定するには町の合意が必要となり町の合意を得られない地域を国立公園に指定することはできない。

③現行の国定公園指定地域については、自然公園としての資質があるため国定公園として指定されている経緯があるので、指定区域とするよう協力いただきたい。

国立化の目的は観光となっているが現実的にどう発展するか難しい問題で産業振興のマイナスになるものであれば避けるべきで冠をもらわないで今のままでいいのではという意見もありました。



▲　雪に覆われた日高山脈

プレミアム商品券のあり方について

この件については予算委員会などいろいろな場面でその公平さについて意見が出されてきたところでありますが、今般予定時間より1時間早く売りに出されたことによりその時間に来た時にはすでに完売されていた状態になったようです。効果と発生する問題点を整理し商工会事務局と来年度以降の実施方向について協議しているとの事でした。

遊休町有地の売却について

今後の考え方として大規模な遊休地として旧西町第2団地跡地については消防庁舎建設候補地の一つ、あるいは分譲地としての売却を検討し、会所町三角地については当面現状のままイベント用地として活用する。旧様似中学校グラウンドは、一部、土砂災害警戒区域に指定されていること、また、周辺の教員住宅の利用状況を見ながら今後の活用方法を検討する。公売可能な町有地を22件選定しておりこのうち定住促進のためにニーズがあると思われる部分の公売を優先的に実施することとし、すでに貸し出し中の町有地は116件あり購入希望を受付中で希望を取りまとめて随時売却を進めていくとのことです。

審議した案件

10月21日
◆ふるさと納税現状と今後の在り方について
◆日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に伴う地権者協議の現状について
◆アポイ岳キタゴヨウ等伐採試験の詳細について
◆様似町水道事業会計補正予算（第3号）の専決処分について

11月13日
◆水道施設視察
◆交流促進施設アポイ山荘の運営状況について
◆日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に伴う国等関係機関への要請状況及び地権者協議の進捗状況について
◆様似町観光協会の今後の在り方について
◆プレミアム商品券の在り方（地域商品券発行事業補助金）について

12月2日
◆日高山脈襟裳国定公園の国立公園化について
◆様似町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
◆日高山脈襟裳国定公園内における町有林の状況について
◆産業課所管の補正予算について
◆日高中央漁業協同組合の漁船保全修理施設（上架施設）整備について
◆日高産業廃棄物処理事業協同組合への助成について
◆町有地（遊休地）の売却について
◆様似町水道施設更新等整備計画について
◆様似町議会議員及び様似町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
◆令和2年度人事院給与勧告の概要について
◆報酬額及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例の制定について
◆町長等の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
◆職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

以上、23件について審議。

社会・文教常任委員会

フレイル予防・普及啓発事業について

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出を自粛し、心身共に落ち込む高齢者が増えている。生活が不活発になると、心身の衰弱状態（フレイル）や認知症の進行を招き、要介護状態や寝たきりとなるリスクが高くなる。

事業目的として、なじみの音楽を聴きながら体操を行い、心身の健康と筋肉低下を予防しようとするもの。

様似町では「様似観光音頭」を活用した独自のフレイル予防体操を製作し、パンフレットや、65歳以上の高齢者世帯にはＤＶＤも配布。高齢者が集まるイベント等に講師を派遣し、体操の普及・啓発を行う。

実施期間として令和2年12月から翌年3月を予定。

予算については、１０５万３，０００円で今議会に補正で計上する。

アポイ岳キタゴヨウ等伐採試験の詳細について

最初に、キタゴヨウ等の伐採の経緯と目的、実施日、伐採試験箇所、伐採試験面積、伐採試験に当たっての許認可、各試験区の伐採樹種と本数、各試験区のキタゴヨウ年輪サンプル7合目下試験区付近の植生遷移写真、合目下試験区の伐採前後写真、七合目付近の植生状況、今後の対策について説明がされた。



▲　アポイ岳７合目伐採前



▲　アポイ岳７合目伐採後

委員からは、後述の通りの質問や意見が出された。

①アポイ岳環境科学委員会で、キタゴヨウ伐採と決定する際、委員全員が伐採すべきと認定されたのか。

②キタゴヨウは、様似町の木と認定されているが、キタゴヨウ伐採決定の際、所管の総務課との協議はされたのか。

③科学委員会で決定する際、教育委員会や産業課との協議はされたのか。

④科学委員会でキタゴヨウ伐採について、どのような意見等が出されたか、報告書のどこに記載されているか。

⑤キタゴヨウ伐採の許認可において、文化庁から実施の際の指摘事項やパブリックコメント・地元住民の理解が求められなかったのか。

特に専門家の科学委員会の方々が、キタゴヨウ伐採に際し異論や指摘事項が無かった事は非常に残念であり、来年４月から予定していたエコネットワークの設立やメンバーの人選等についても意見が出された。

小中学校における弁当配食の検討状況について

長期間、学校給食のあり方について検討しているが、人口規模や、今後インフラ整備等に係る経費等を考えた場合、給食施設の整備を本町だけで実施するのは財政的に厳しい状況である。それゆえ隣町と広域での整備を模索しているが、さらなる時間を要するとの事で、学校給食実施までの間、弁当配食を検討しているとの説明がされた。

審議した案件

12月1日

◆フレイル予防・普及啓発事業について

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための様似町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆様似町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆様似町議会議員及び様似町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

◆アポイ岳キタゴヨウ等伐採試験の詳細について

◆様似町スポーツ振興会の今後について

◆幼児センター園庭フェンス設置工事の次年度実施について

◆小中学校における弁当配食の検討状況について

以上、８件について審議。